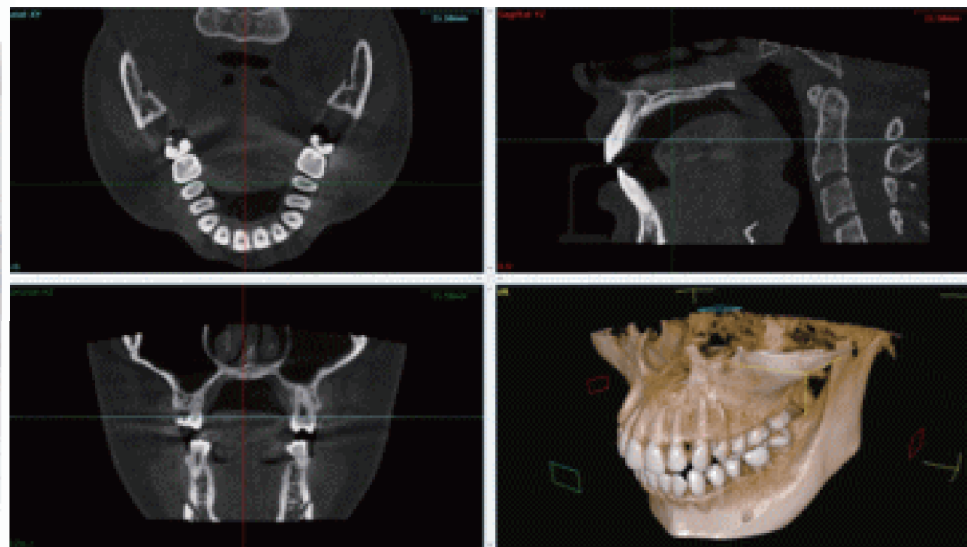


歯科専用 CT の導入



歯科専用 CT 3つの安心

その1：より細かく鮮明な画像

その2：撮影時間が短い

その3：被爆量が少ない

通常の歯科治療とインプラント治療は硬組織である骨へアプローチするということが大きく異なります。骨の中には静脈や神経が走行しており、X線レントゲン画像だけで手術を進めることはとても危険な状態と言えます。インプラント手術を行う上で、CT撮影装置は不可欠です。

[歯科用 CT の被曝量]

歯科用 CT は従来のレントゲンに比べると 1/5 ~ 1/10 と低被曝で、健康診断などで行う胸部レントゲンにくらべても半分以下となっておりますので安全です。

[放射線被ばく量の目安]

- ・一人あたりの自然放射線 世界平均 (年間) : 2.4mSv
- ・航空機にて東京・ニューヨーク間往復 : 0.2mSv
- ・胸部レントゲン (フィルム) 1回 : 0.09mSv
- ・歯科用 CT (デジタル) 1回 : 0.04mSv